



40

17,154

本当に、いなくなる。

現在、長崎市で語り部として活動している被爆者¹の数は40人。長崎市内の被爆者17,154人のうち、わずか0.2%です。平均年齢は86歳を超え、語り部を続ける被爆者に「あと何年、活動を続けられると思いますか?」と尋ねると「3年」「5年」「命の続く限り」「わからない」というこたえが返ってきます。

被爆者は声を上げ、核兵器がもたらすものを世界に伝えてきました。核使用のリスクが高まるなかで、その抑止力となっていた被爆者が、いつか本当にいなくなる。そのいつかは、追っています。

戦後80年のその先も。被爆者が守ってきたものが、続いていくように。私たちには何ができるのだろうか。残された時間が、問いかけてきます。

*「長崎平和推進協会」「一般財団法人長崎原爆被災者協議会(被災協)」に登録し語り部として活動している被爆者

